



1. マーケット・レート

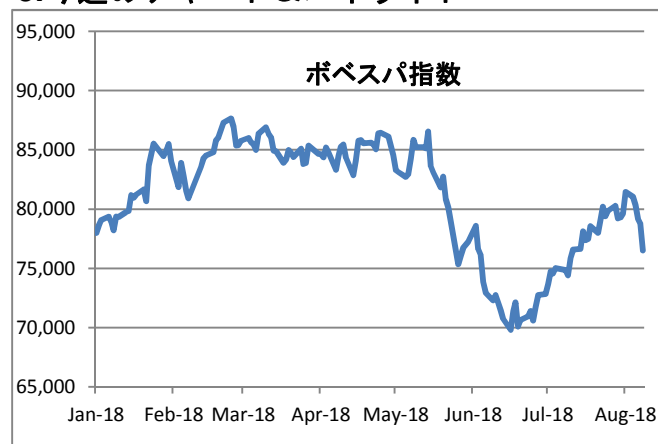
			8月6日	8月7日	8月8日	8月9日	8月10日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7360	3.7530	3.7720	3.8010	3.8640	+0.0630
	BRL/JPY	Spot	29.82	29.68	29.42	29.22	28.70	-0.52
	EUR/USD	Spot	1.1553	1.1598	1.1613	1.1530	1.1413	-0.0117
	USD/JPY	Spot	111.41	111.38	110.97	111.07	110.89	-0.18
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.759	6.791	6.834	6.833	6.989	0.156
	Future	1Year(p.a.)	7.414	7.467	7.546	7.625	7.904	0.279
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.570	3.656	3.664	3.611	3.731	+0.120
	USD	1Year(p.a.)	3.967	4.059	4.060	4.012	4.094	+0.083
株式	Bovespa指数		81,050.75	80,346.50	79,151.69	78,768.00	76,514.38	-2,253.62
CDS	CDS Brazil 5y		212.84	217.32	218.64	225.26	237.01	+11.75
商品	CRB指数		193.930	194.495	193.039	192.428	191.695	-0.734

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは対米関係悪化をきっかけとしたトルコ不安を受け、リスクオフムードから約3週間振りとなる3.87台へ下落。
- 今週のレアルは3.7070で寄り付いた。国内の大統領選挙に関して、改革に前向きなアルキミン候補が汚職事件に絡む司法取引に巻き込まれるとの噂から3.7700へ下落。後に噂が否定されたことで買戻しの動きが見られたが、週後半には米国によるトルコ、ロシアへの制裁を背景としたリスクオフムードから新興国通貨が売られる中、3.8台へと下げ幅を拡大した。週末にかけて週間安値3.8720を付け、結局3.8640で越週。
- 10月の大統領選挙に向け、各政党は前週末の5日までに擁立する候補者を発表した。13人の立候補が見込まれているが、労働者党(PT)は収監中のルラ元大統領を擁立。同氏は選挙裁判所から不適格と判断される可能性が高いと見られている。
- 6日に発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2018年が1.50%、2019年は2.50%でそれぞれ据え置かれた。インフレ率予想は2018年が4.11%、2019年が4.10%で据え置き。年末の為替レートについても2018年、2019年ともに3.70で据え置かれた。
- 8日に発表された7月の伯インフレ率(IPCA)は前月比+0.33%と前回6月の+1.26%から大幅に低下した。項目別では物流ストライキの影響を受けて6月に大幅な上昇を示した食料品や交通価格において正常化の動きが見られ、ストによる影響が一時的なものに留まるとの見方をサポートする結果となった。
- 今週、国内の大統領選の動きが本格化する中で各候補者に関する噂や世論調査の結果に対して市場が反応を示す場面があった。7日、改革に前向きなことから市場で好感されている元サンパウロ州知事・アルキミン候補に関して、過去の汚職事件に絡む司法取引に同氏が巻き込まれるとの噂が出たことで一時的にレアル売りが強まった。尚、この噂は司法取引を行うとされた人物の弁護士により後に否定されている。

3. 今週のチャート&ハイライト



出所：Bloomberg

トルコリラの急落を受けて新興国市場は軟調な動き

今週、米国によるトルコ、ロシアに対する制裁を背景に両国の通貨が下落した。トルコ・リラはドルに対し、先週末の5.08台から一時6.87台まで急落。史上最安値を大幅に更新した。欧州の銀行が有するトルコ向け債権について懸念が報じられる等、リスクオフムードが拡大。また米中貿易戦争に対する警戒感も依然として強い中、新興国市場は週後半にかけて軟調な動きが続いた。国内ではボベスパ指数が週間ベースで7週間振りに下落。伯国債の5年物CDSスプレッドは237bpsと約3週間振りの水準へ上昇した他、レアルの先物金利はほぼ全ての年限が週間で上昇した。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.80—3.90

来週のレアルは軟調な動きを予想する。トルコリラ急落はアルゼンチンペソ等、他の新興国通貨にも影響が拡大している。米中貿易戦争に対する警戒感も依然強い中、市場ではリスクオフムードが続くものと見られる。また国内の大統領選を巡る不透明感も引き続きマイナス材料と見られ、レアルは軟調な展開が見込まれる。

国内では来週15日が10月大統領選に関する候補者登録の期限となっている。労働者党(PT)は収賄罪等で収監中のルラ元大統領を擁立しているが、16日以降に選挙裁判所が同氏を候補者として不適格とする判断を下す可能性がある。その場合はルラ氏による控訴が予想されるが、市場は同氏によるポピュリズム的な政策をリスクと捉えており、同氏を含む大統領選の動向に引き続き注目したい。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	IGP-M Inflation 1st Preview	0.22%	0.70%	0.41%
ブラジル	小売売上高(前月比)	0.1%	-0.3%	-0.6%
ブラジル	小売売上高(前年比)	2.4%	1.5%	2.7%
ブラジル	広義小売売上高(前月比)	2.1%	2.5%	-4.9%
ブラジル	広義小売売上高(前年比)	3.1%	3.7%	2.2%
米	CPI(前月比)	0.2%	0.2%	0.1%
米	CPI除食品・エネルギー(前月比)	0.2%	0.2%	0.2%

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	8/13	貿易収支(週次)	Aug 12	--	\$362m
ブラジル	8/14	IBGEサービス部門売上高 前年	Jun	-0.5%	-3.8%
ブラジル	8/15	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Aug	0.60%	0.93%
ブラジル	8/15	経済活動(前月比)	Jun	3.00%	-3.34%
ブラジル	8/15	経済活動(前年比)	Jun	1.55%	-2.90%
米	8/15	ニューヨーク連銀製造業景気指数	Aug	20.0	22.6
米	8/15	小売売上高速報(前月比)	Jul	0.1%	0.5%
米	8/15	鉱工業生産(前月比)	Jul	0.3%	0.6%
ブラジル	8/16	FGV CPI IPC-S	Aug 15	0.21%	0.20%
米	8/16	フィナンシャル連銀景況	Aug	22.0	25.7
米	8/16	住宅着工件数	Jul	1260k	1173k
ブラジル	8/17	FIPE CPI-週次	Aug 15	0.49%	0.37%
ブラジル	8/17	IGP-M Inflation 2nd Preview	Aug	0.73%	0.53%
米	8/17	先行指数	Jul	0.4%	0.5%
米	8/17	ミシガン大学消費者マインド	Aug	98.0	97.9

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。